

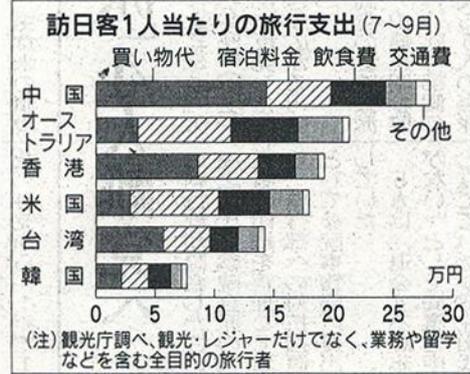
- 10/21・TPP関税撤廃全容発表 自由化率95%は過去最高 農産品8割が国際競争へ
- ・韓国鉄鋼大手ポスコ26%営業減益 (7-9月) 中国景気減速で鉄鋼安
 - ・英エリザベス女王「今年は英中に特別な年」 習氏訪英で晩さん会
- 10/22・英中首脳会談、英が中国原子炉導入で合意、先進国で初 < 1 >
- エネルギー協力など総額7兆円契約 高速鉄道でも提携 中国インフラ輸出に弾み
 - ・英石油大手BPが中国国有エネルギー大手2社と提携 LNG契約1.2兆円など
 - ・訪日消費年3兆円超へ 7-9月四半期初の1兆円超え < 2 >
 - 中国頼み持続力懸念も 訪日客「外需」下支え、輸出の4%補う
- 10/23・TPP、投資や知財ルール統一 全31分野で 域内市場の統合加速 < 3 >
- ・欧州中銀ドラギ総裁 12月追加緩和示唆 物価低迷を懸念
 - ・韓国現代自動車25%減益 7-9月最終損益 中国販売が不振、5年半ぶりの低水準
 - ・アジア投資銀、世界銀行と連携 総裁協議で確認 (22日ワシントン)
 - ・韓国成長率1%台回復 (7-9月前期比1.2%増) MERS沈静化で内需が伸び
 - ・日中韓会談、再び定例化 3首脳来月ソウルで合意へ
- 10/24・中国、銀行金利を自由化 不動産過熱防ぎマネーのゆがみ是正
- ・中国、0.25%追加利下げ (11月以降で6回目) 預金準備率も0.5%下げ < 4 >
 - 欧州緩和観測と合わせて世界で株高・金利安 日経平均389円高、NY株3カ月ぶり高値
 - ・産油国財政、一段と悪化 原油安が長期化 IMF、サウジは5年で準備資産消失
通貨、切り下げ圧力 ドル連動維持、困難の見方
- 10/25・米早期利上げ論さらに後退 27日からFOMC 市場観測「12月以降」
- FOMC：米連邦公開市場委員会
 - ・欧州企業、7-9月期8四半期ぶり減益に VW不正、中国経済減速が影響
- 10/26・人民元、準備通貨へ IMF方針固める 「国際通貨」へ前進 < 5 >
- 金融改革一定の評価 各国、外貨準備に活用 米容認 円、地位低下の懸念
 - ・中国5中全会きょう開幕 「次の5年」改革正念場 < 6 >
 - 5中全会：中国共産党中央委員会第5回全体会議
 - ・欧州マイナス金利再加速 ドイツ2年債利回り最低に 通貨安競争に拍車
- 10/28・米「航行の自由」譲らず 南シナ海人口島12カイリ内で米イージス艦哨戒
- 中国艦は警告 ならみ合い常態化懸念 衝突避ける仕組みの確実な運用課題

<1>

首脳会談で合意した主な経済協力

- ・総額約400億ドルの投資・貿易の契約が成立
- ・英国が中国産原発を採用
- ・中国人旅行者のビザ有効期限を現行の半年から2年に延長
- ・ロンドンで中国人民銀行が50億元（約950億円）の人民元建て手形を発行

<2>



<3>

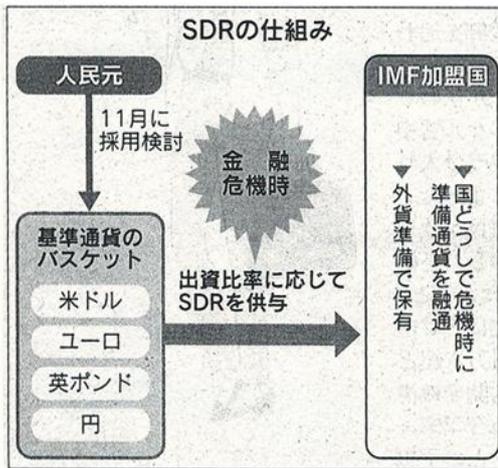
TPPは域内企業の活動基盤を広げる

| | |
|---------------|--|
| 貿易ルール | <ul style="list-style-type: none"> ・域内で製品の一定割合以上をつくれれば関税を撤廃する「原産地規則」を導入 ・急送貨物は税関での手続きを6時間以内にする |
| 人の移動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス関係者の一時的な滞在期間の延長など |
| ビジネス環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・国有企業や独占企業の活動を制限する ・強制労働や児童労働を禁止し、不当な価格競争を回避 ・政府が外国企業の資産を不当に収用するのを禁止。紛争解決の投資仲裁「ISDS」の仕組みも ・政府調達の対象拡大や基準額の引き下げ |
| 規制緩和など | <ul style="list-style-type: none"> ・電気通信事業での外資規制の緩和。国際ローミング料金の透明化 ・電子商取引の規定を設定 ・金融機関やコンビニ参入規制の緩和 |
| 知的財産 | <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ製剤の医薬品保護は8年。製薬企業の利益と後発医薬品の開発の双方に配慮 ・映画やレコードなどの著作権保護は少なくとも70年。国内は原則20年延長へ |

<4>



<5>



<6>

習近平指導部が初めて立案する5カ年計画(2016~2020年)の主な焦点

- ▽安定成長の維持~成長率の想定を現行計画(年平均7%)より下げるか
- ▽成長モデルの転換~国有企業改革、消費主導の成長など改革の具体像
- ▽経済の質の向上~製造業のレベルアップなど技術革新による成長めざす
- ▽地域開発~北京、天津、河北省の大首都圏構想など地域経済の活性化
- ▽対外戦略~一带一路(新シルクロード)構想など経済外交戦略の推進
- ▽環境保護~環境配慮型の経済運営、エネルギー効率の向上などの道筋
- ▽国民生活~貧困の撲滅、格差の縮小、社会保障の充実などへの対応